

広報部活動計画（案）

1 活動及び編集方針

- (1) 会員への情報提供を主たる目的とし、読みやすく充実した情報発信に努める。
- (2) 会報作成及び Web ページを編集する。
- (3) 各種大会等の報告は、代表参加制の意図も踏まえ、広く会員に報告することを目的とし、職務に役立つように要点・概要を中心とした掲載を基本とする。
- (4) 原稿依頼は、各種大会参加前に行う。
- (5) 各地区副校長会だより及び新任副校長奮闘記の掲載を継続する。
- (6) 各種大会記念講演記録や特別寄稿等、変化のある編集を心掛ける。

2 各号の編集内容

号数	主な内容
226 号 7 月 1 日 発行予定	<ol style="list-style-type: none"> ① 第 1 回評議員会・地区事務局長合同会議の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・会長挨拶 ・令和 6 年度活動方針 ② 令和 6 年度各部活動計画及び事業計画 ③ 県副校長会役員一覧 ④ 各地区役員名簿一覧 ⑤ 令和 6 年度研修会・研究大会案内
227 号 10 月中旬 発行予定	<ol style="list-style-type: none"> ① 第 35 回学校管理運営研修会 講話 1、講話 2、講演 ② 第 66 回全国公立学校教頭会研究大会高知大会報告 ③ 地区副校長会だより 胆江地区 ④ 新任副校長奮闘記 盛岡地区、久慈地区
228 号 2 月中旬 発行予定	<ol style="list-style-type: none"> ① 特別寄稿 ② 第 48 回岩手県小中学校副校長会研究大会報告 ③ 第 44 回東北地区小中学校教頭会研究大会宮城大会報告 ④ 令和 7 年度事業計画（予定） ⑤ 地区副校長会だより 宮古地区 ⑥ 新任副校長奮闘記 花巻地区、一関地区

3 各号の PDF データを Web ページに掲載する。

地区副校長会だより・新任副校長奮闘記地区割当表

地区副校長会だより：○

新任副校長奮闘記：小、中

年度	会員数 (小)	会員数 (中)	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	回数 (地区会)	回数 (新任小)	回数 (新任中)
盛岡	42	24		中	小	○	中		○	中	小		○	中	小		中		3	3	5
岩手	31	14	中		○	中		小			中	○		小	中	○			3	2	4
紫波	9	5	○				小			○		中				小			2	2	1
花巻	16	11		小	中		○			小				○			○	中	3	2	2
和賀	16	11	小			中	○			小				○		中	○		3	2	2
胆江	25	8		○		小		中			○		小				小		2	3	1
一関	23	16		中		小		○	小	中			小	中	○		中	○	3	3	4
気仙	21	8	小					中	○		小		中			○		小	2	3	2
釜石	12	7			小			○	中			小			○				2	2	1
遠野	11	3				○			小			中	○			小			2	2	1
宮古	21	15		○	中		小		中		○		中		小	中		○	3	2	4
久慈	21	13	○	小			中			○		小			中		小	中	2	3	3
二戸	21	7	中		○			小			中	○		小				小	2	3	2

※当該地区に、新任副校長が着任しなかった場合は、新任副校長奮闘記の執筆を次年度担当地区に依頼する場合があります。

令和6年度以降の研修体制について

(1) 全国大会及び東北大会の分科会構成（第13期～第14期）

大会		第1課題 教育課程	第2課題 子供の発達	第3課題 教育環境整備	第4課題 組織・運営	第5課題 教職員の専門性	第6課題 副校長・教務の職務
全 国	R6・高知 7. 茨城 8. 北海道	A・B 2分科会	1分科会	1分科会	1分科会	A・B 2分科会	全公教担当
東 北	R6・宮城 7・山形 8. 秋田	A・B 2分科会	1分科会	1分科会	1分科会	1分科会	他県開催では 分科会なし

① 全国大会の第6課題は、特別分科会（全公教担当）となり、第1・5課題がそれぞれA・Bの2分科会に分かれる。

② 東北大会の第5課題は、A・B分けて1分科会となる。他県開催では第6課題はなし。

(2) 全国大会及び東北大会の提言分担割当（第13期）

年度	R6	R7	R8
全国 大会	高知	茨城	北海道
東北の 割当 分科会	秋田 (小) 3	山形 () 2	福島 ()

<全国大会（前年度割当地区が提言）>

①令和9年度まで割当無し。次回は令和10年度島根大会の予定。

<東北大会（当年度割当地区が提言）>

①令和6年度宮城大会第3課題は「盛岡」に依頼
和賀はR4全国大会で提言済み。

②令和7年度山形大会第2課題「胆江」に依頼
岩手はR4全国大会で提言済み。

③令和8年度秋田大会第1課題B「気仙」に依頼
一関はR4全国大会で提言済み。

④令和9年度青森大会第1課題B「二戸」、第5課題「花巻」に依頼
紫波はR10東北大会で提言予定。
気仙はR8東北大会で提言予定。

⑤令和10年度東北大会（盛岡）の提言分担は以下の通り
第1課題Aは「久慈」に依頼 胆江はR7東北大会で提言予定
第1課題Bは「宮古」に依頼 岩手はR4全国大会で提言済み
第2課題は「一関」に依頼 気仙はR8東北大会で提言予定
第3課題は「紫波」に依頼 花巻はR9東北大会で提言予定
第4課題は「釜石」に依頼 二戸はR9東北大会で提言予定
第5課題は「和賀」に依頼 盛岡はR6東北大会で提言予定

⑥令和11年度以降の提言分担は提示されてから決定

年度	R6	R7	R8
東北 大会 開催県	宮城	山形	秋田
1A	山形	秋田	青森
1B	秋田	青森	岩手 (気仙)
2	青森	岩手 (胆江)	福島
3	岩手 (盛岡)	福島	宮城
4	福島	宮城	山形
5	山形	秋田	青森

(3) 県大会の提言分担割当

・次頁表の通り「6分科会×2提言の12提言」の分担を毎年5つずつ上にずらすローテーションとする。

・1つずつずらすと、地区内で同じ課題の割当が2年続いてしまう。

・2つ、4つ、6つずつ等偶数個ずらすと、小・中学校で割り当たる課題が固定してしまう。

(1つの課題2地区割当のうち、上段が小学校、下段が中学校を原則としている。)

・3つずつずらすと、4年間で1周して最初に戻り、割り当たらない課題が出てしまう。

◇ 地区分担表 R6.2.9 現在

□...東北大会提言

□...全国大会提言

年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
内容	紙上	紙上	全国	紙上	県大会	紙上	県大会	紙上	東北	紙上	県大会	紙上	県大会	紙上	東北	紙上	県大会	紙上
1A	胆江	花巻	花巻	盛岡	一関	遠野	岩手	紫波	久慈	気仙	和賀	宮古	二戸	胆江	花巻	盛岡	一関	遠野
	岩手	紫波	紫波	久慈	気仙	和賀	宮古	二戸	胆江	花巻	盛岡	一関	遠野	岩手	紫波	久慈	気仙	和賀
1B	宮古	二戸	二戸	胆江	花巻	盛岡	一関	遠野	岩手	紫波	久慈	気仙	和賀	宮古	二戸	胆江	花巻	盛岡
	一関	遠野	遠野	岩手	紫波	久慈	気仙	和賀	宮古	二戸	胆江	花巻	盛岡	一関	遠野	岩手	紫波	久慈
2	気仙	和賀	和賀	宮古	二戸	胆江	花巻	盛岡	一関	遠野	岩手	紫波	久慈	気仙	和賀	宮古	二戸	胆江
	花巻	盛岡	盛岡	一関	遠野	岩手	紫波	久慈	気仙	和賀	宮古	二戸	胆江	花巻	盛岡	一関	遠野	岩手
3	紫波	久慈	久慈	気仙	和賀	宮古	二戸	胆江	花巻	盛岡	一関	遠野	岩手	紫波	久慈	気仙	和賀	宮古
	二戸	胆江	胆江	花巻	盛岡	一関	遠野	岩手	紫波	久慈	気仙	和賀	宮古	二戸	胆江	花巻	盛岡	一関
4	遠野	岩手	岩手	紫波	久慈	気仙	和賀	宮古	二戸	胆江	花巻	盛岡	一関	遠野	岩手	紫波	久慈	気仙
	和賀	宮古	宮古	二戸	胆江	花巻	盛岡	一関	遠野	岩手	紫波	久慈	気仙	和賀	宮古	二戸	胆江	花巻
5	盛岡	一関	一関	遠野	岩手	紫波	久慈	気仙	和賀	宮古	二戸	胆江	花巻	盛岡	一関	遠野	岩手	紫波
	久慈	気仙	気仙	和賀	宮古	二戸	胆江	花巻	盛岡	一関	遠野	岩手	紫波	久慈	気仙	和賀	宮古	二戸
6	総務部		全公教		総務部		総務部		総務部		総務部		総務部		総務部		総務部	
全国統一研究主題	研究期			第13期			第14期			第15期			第16期			第17期		
東北大会 開催県	福島	宮城	山形	秋田	青森	岩手	福島	宮城	山形	秋田	青森	岩手	福島	宮城	山形	秋田	青森	岩手
東北大会 提言分担 (本県)	4二戸	3盛岡	2胆江	1B気仙	1A5花巻	全課題	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定
全国大会 開催ブロック (都道府県)	石川県	高知県	茨城県	北海道	兵庫県	島根県	熊本県	宮城県	三重県	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定
全国大会 提言分担 (東北ブロック)	5B宮城	3秋田	2山形	福島	青森	岩手	宮城	全課題	山形	福島	青森	岩手	宮城	秋田	山形			

※ 平成 29 年度以降の遠野・釜石地区については、2 年ずつ（紙上発表と県発表のセット）担当することとし、同一地区が隔年で毎回県発表とならないようにする。

令和6年度以降の災害復興支援活動について

I 令和5年度 of 取組

1 全国公立学校教頭会及び東北教頭会 of 取組

(1) 全国公立学校教頭会 (R2 年度役員会資料)

政府によって「激甚災害」に指定された災害が発生した場合、

ア 状況把握及びお見舞い

イ 全公教見舞金を届ける。

ウ HP へお見舞いメッセージの掲載及び義援金の送金先を明示する。

エ 単位教頭会へ義援金の依頼を行う。研究大会・会議等参集する場での募金活動

(2) 東北教頭会

東北教頭会会議が主な情報交換の場であるが、話題として取り上げることが減ってきている。

2 岩手県小中学校副校長会 of 取組

震災復興状況についての情報は共有しなかった。

秋田豪雨・能登半島地震の情報収集を行った。

能登半島地震に際し、石川・富山・新潟へお見舞金を送った。

3 本県の現状と課題

(1) 震災から13年が経過する中、復興支援についての情報収集が少なくなっている。

(2) 現状把握のため各地区事務局へ震災による活動制限の有無の実態について調査を依頼し、今後の対応等を検討する。

II 令和6年度以降 of 岩手県小中学校副校長会 of 復興支援活動について

1 支援等に関する情報を収集し、情報提供に努める。

→全国教頭会、東北各県教頭会等の会議を利用し、支援等に係る情報を収集し、必要などころへ情報提供を行う。

2 甚大な被害をもたらす災害が起きた場合、どのような状況下においても支援する体制を早急に取り、副校長会としての支援に努める。その際に、評議員会を経ず、会長・副会長・事務局で検討して対応するときもある。

令和6年度岩手県小中学校副校長会事業計画（案）

月	岩手県小中学校副校長会	事務局	専 門 部				東北教頭会	全国教頭会
			総務部		研修部	広報部		
			総務担当	調査担当				
4		理事代表者会議①(16.火)	活動方針・活動計画	活動方針・活動計画	活動方針・活動計画	活動方針・活動計画		
5	評議員会①・地区事務局長 合同会議 (21.火サンセール盛岡)	理事代表者会議② (13.月サンセール盛岡) 理事全体会① (13.月サンセール盛岡)	活動方針打ち合わせ 会議運営業務 (13.月サンセール盛岡)	活動方針打ち合わせ 分析検討会① 全国基本調査依頼	活動方針打ち合わせ 「研究の手引き」編集 組織作り	編集方針打ち合わせ	理事研修会① (30.木～31.金 仙台市)	
6	地区研修担当者会議① (10.月 下橋中)	理事代表者会議③ (25.火)		基本調査資料作成	「研究の手引き」発行 地区研修担当者会議① (10.月下橋中)		総会(7.金ハイブリッド)	
7	第35回学校管理運営研修会 (1.月トーサイクラシックホール 岩手 中ホール) 全国研究大会高知大会 (31.水高知市)	理事代表者会議④(23.火)	学校管理運営研修会 運営業務 (1.月トーサイクラシック ホール岩手 中ホール) 全国要請担当者研修会 (12.金オンライン)	基本調査依頼	第35回学校管理運営研修会 (1.月トーサイクラシック ホール岩手中ホール) 全国研究部長会① (5.金ハイブリッド)	226号発行 (評議員会①)	研究部長会① (5.金ハイブリッド) 全国要請担当者研修会 (12.金オンライン) 全国研究大会高知大会 (31.水高知市)	
8	全国研究大会高知大会 (1.木高知市) ハイブリッド大会						全国研究大会高知大会 (1.木高知市) ハイブリッド大会	
9		東北事務担当者会 (12.木～13.金 仙台市) 理事代表者会議⑤(24.火)	全国要請推進部長会 (26.木ハイブリッド) 要請活動(校長会及び県選出 国会議員へ)	分析検討会②	東北研究部長会 (12.木～13.金 仙台市)		東北研究部長会 (12.木～13.金 仙台市) 東北事務担当者会 (12.木～13.金 仙台市)	
10		理事代表者会議⑥(29.火)		分析検討会③		227号発行 (管理運営研、全国大会)		
11	東北研究大会宮城大会 (14.木 仙台市) オンライン大会 第48回岩手県小中学校副校長会研 究大会(28.木～29.金) 参集 トーサイクラシックホール岩手大 ホール、アイーナ、サンセール	理事代表者会議⑦(19.火) 理事全体会②(19.火) 大会運営委員会(27.水)		第48回研究大会 6分科会提言	第48回岩手県小中学校副校 長会研究大会(28.木～29.金) トーサイクラシックホール 岩手大ホール、アイーナ、サ ンセール		東北研究大会宮城大会 (14.木 仙台市) オンライン大会	
12	地区研修担当者会議② (9.月下橋中)		要請活動		全国研究部長会②(6金オン ライン) 地区研修担当者会議② (9.月下橋中)		全国研究部長会② (6.金オンライン) 理事会②(13.金オンライン)	
1		理事代表者会議⑧(21.火)			研修部会		理事研修会② (23.木～24.金 仙台市)	
2	評議員会② (17.月オンライン)	理事代表者会議⑨(12.水)	会議運営業務 (17.月オンライン)		研究集録発行	228号発行 (県大会・東北大会)	中央研修大会(7.金オンライン) ※ビデオオンデマンド (2月中旬～3月末)	
3	会計監査(18.火 下橋中)	理事代表者会議⑩(24.月)					理事会③ (7.金ハイブリッド)	

令和6年度 歳入歳出予算(案)

1. 収入の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備 考
1. 会 費	11,832,000	11,919,000	△ 87,000	29,000円×408名
2. 補 助 金	250,000	250,000	0	教育会、日教弘
3. 繰 越 金	700,000	470,804	229,196	
4. 研究大会積立金	1,224,000	0	1,224,000	3,000円×408名
5. 雑 収 入	132,000	132,000	-	学生協
収 入 計	14,138,000	12,771,804	1,366,196	

2. 支出の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備 考	
1. 研究大会費	1,879,000	-	1,879,000	講師謝金	125,000
				助言者謝金	49,000
				発表者旅費	100,000
				司会・記録旅費	200,000
				大会役員旅費	60,000
				借料・損料	700,000
				記録	100,000
				資料費	240,000
				通信費	10,000
				盛花	5,000
				看板	50,000
				消耗品	10,000
				輸送費	60,000
				写真	100,000
会議費	50,000				
渉外費	20,000				
2. 研究成果刊行費	630,000	540,000	90,000	研究集録	600,000
				送料	25,000
				会議費	5,000
3. 事務費	2,430,000	2,450,000	△ 20,000	職員費	1,680,000
				共済積立費	50,000
				通信運搬費	280,000
				印刷費	20,000
				消耗品費	40,000
				コピー使用料	270,000
				事務所費	60,000
				雑費	30,000

4. 会 議 費	310,000	430,000	△ 120,000	理事諸会議 100,000 評議員・事務局・研修担当 70,000 東北理事諸会議 110,000 その他 30,000
5. 旅 費	1,425,000	1,355,000	70,000	学校管理運営研修会 35,000 評議員・事務局・研修担当 280,000 理事諸会議 100,000 全国大会 550,000 東北大会 135,000 東北理事会 270,000 東北事務担当者会 30,000 中央研修 10,000 その他 15,000
6. 刊 行 費	330,000	290,000	40,000	「評議員会要項」 130,000 「副校長会報」発行 100,000 「研究の手引」発行 100,000 調査研究費 -
7. 研究推進費	2,175,000	2,746,500	△ 571,500	学校管理運営研修会 300,000 大会参加費 280,000 全国大会参加補助 1,400,000 東北大会参加補助 35,000 中央研修 10,000 大会発表補助 20,000 地区研究大会祝金 130,000
8. 負担金・会費	3,788,600	3,866,200	△ 77,600	全国教頭会費 1,876,800 東北ブロック負担金 30,000 東北大会運営負担金 - 日本教育会費 1,264,800 日本教育会岩手県支部費 612,000 いわて教育の日推進協議会費 5,000
9. 慶 弔 費	200,000	185,000	15,000	退職記念品 130,000 見舞金 30,000 その他 40,000
10. 積 立	662,000	666,500	△ 4,500	基金積立 50,000 研究大会積立 612,000
11. 予 備 費	308,400	242,604	65,796	
支 出 合 計	14,138,000	12,771,804	1,366,196	

令和6年度 岩手県小中学校副校長会基金予算(案)

(記念事業・東北大会等)

1. 収入の部	1 前年度繰越金	1,635,802円
	2 積立金	50,000円
	3 利息	10円
	A 合計	1,685,812円
2. 支出の部		0円
	B 合計	0円
3. 収支の部(A-B)	1,685,812円 - 0円 = 1,685,812円	繰越予定

令和6年度 運営資金予算(案)

1. 収入の部	1 前年度繰越金	2,063,518円
	2 本年度入会金(9,000円×新入会員70名)	630,000円
	3 預金利息	10円
	A 合計	2,693,528円
2. 支出の部		
	1 全国公立学校教頭会拠出金(6,000円×70名)	420,000円
	B 合計	420,000円
3. 収支の部(A-B)	2,693,528円 - 420,000円 = 2,273,528円	繰越予定

令和6年度 研究大会積立金予算(案)

1. 収入の部	1 前年度繰越金	1,360,566円
	2 積立金 (1,500円×408名)	612,000円
	3 預金利息	5円
	A 合計	1,972,571円
2. 支出の部		
	1 研究大会参加費(3,000円×408名)	1,224,000円
	B 合計	1,224,000円
3. 収支の部(A-B)	1,972,571円 - 1,224,000円 = 748,571円	繰越予定

令和6年度

第48回岩手県小中学校副校長会研究大会要項(案)

- 1 研究主題「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」
キーワード「自立・協働・創造」
- 2 期 日 令和6年11月28日(木)～29日(金)
- 3 会 場 全体会 トーサイクラシックホール岩手ホール大ホール・控室
分科会 サンセール盛岡(3分科会・控室)5会場
アイーナいわて県民情報交流センター(4分科会・控室)6会場
- 4 主 催 岩手県小中学校副校長会
- 5 後 援 岩手県教育委員会 盛岡市教育委員会 岩手県市町村教育委員会協議会
(予定) 岩手県小学校長会 岩手県中学校長会 岩手県公立小中学校事務職員研究協議会
公益社団法人日本教育会 日本教育会岩手県支部
公益財団法人日本教育公務員弘済会岩手支部 一般社団法人岩手県PTA連合会
岩手県学校生活協同組合 全国公立学校教頭会
- 6 大会日程(案)
【11月28日(木) 全体会】 《トーサイクラシックホール岩手大ホール》
◆ 開会行事・基調提案・記念講演・シンポジウム・分科会打合せ
◆ レセプション(サンセール盛岡)
【11月29日(金) 分科会】 《7分科会場：いわて県民情報交流センター、サンセール盛岡》
◆ 分科会①②・研修総括・閉会行事
- 7 記念講演 未定 候補：(株)ヤマオコーポレーション 代表取締役 鬼澤慎人氏
- 8 分科会発表一覧(6課題7分科会)

分科会	研究課題	発表地区	
1 A	教 育 課 程	一関	気仙
1 B	教 育 課 程	花巻	紫波
2	子 供 の 発 達	二戸	釜石
3	教 育 環 境 整 備	和賀	盛岡
4	組 織 ・ 運 営	久慈	胆江
5	教 職 員 の 専 門 性	岩手	宮古
6	副 校 長 の 職 務	岩手県小中学校副校長会 総務部	



令和5年12月吉日
 全国公立学校教頭会 会長 吉原 勇
 高知県小中学校教頭会 会長 大坪 顕彦

開催要項

令和6年度

第66回全国公立学校教頭会研究大会 第42回四国地区小中学校教頭会研究大会 第50回高知県小中学校教頭会研究大会

高知大会

[第一次ご案内]

期 日 令和6年7月31日(水)・8月1日(木)
 会 場 県民文化ホール(オレンジホール) 他

『夢と志をもち、協働して未来を創る子どもを育成するチーム学校づくりの推進』

高知大会実行委員長 大坪 顕彦

伝統ある全国公立学校教頭会研究大会は、北陸の石川県から四国の高知県へとバトンが繋がりました。高知県は、黒潮流れる太平洋と雄大な四国山地からの自然の恵みを受け、美しい景観と豊かな食文化が受け継がれてきた魅力あふれる地です。新しい世を切り拓くために奔走した坂本龍馬をはじめ、三菱財閥を創り上げた岩崎弥太郎、自由民権運動の中心となった板垣退助など、これまで新時代の幕開けには土佐の偉人たちが高い志を持って活躍してきました。

この南国土佐高知において、令和6年7月31日から8月1日までの2日間、第66回全国公立学校教頭会研究大会高知大会を開催致します。「高知大会」は、第13期の2年次にあたり、全国統一研究主題「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」のもと、「夢と志をもち、協働して未来を創る子どもを育成するチーム学校づくりの推進」をサブテーマに設定しました。脈々と受け継がれてきたこれまでの研究成果を活かしつつ、新しい課題に立ち向かうことができる研究を推進していくために、土佐の先人達に負けない「夢」と「志」を胸に取り組みでまいります。

近年、教育のグローバル化やICT活用によるGIGAスクール構想など、予想を上回るスピードで教育の近代化が次から次へと展開される一方で、教育の根幹となる人とのつながりが見直されており、特にここ数年間、新型コロナウイルス感染症の影響で、必然的に他と関わる学校でしか学べない心の教育が十分おこなえず、数々の課題も見られるようになりました。また、少子高齢化の影響で子供の数が減少することにより、学校の統廃合などが進むことで、地域の教育力も弱くなっているように感じます。

このような現状から、働き方改革も推進しなければならないこれからの学校教育は、学校だけではなく様々な立場の方と協力しながら進めていくことが求められていると考えます。地域や専門的な知見を持った方に学ぶことで、子供自らが新しい発見をし、主体的に学んでいく力を身に付けることができると考えられます。その活動が地域の発展につながるウェルビーイングを確立させることにつながります。先行きが不透明な時代に生きていく子どもたちにとって、まさに“生きる力”を体感しながら成長していくのではないのでしょうか。その子供たちと共に学んでいく教職員集団を牽引していく立場にある私達、副校長・教頭の役割はますます重要になってきます。今こそ、様々な角度から学校を見直し、子供たちのために学校が中心となった“チーム学校”づくりを目指してまいりましょう。高知大会がそのきっかけの一助となるよう関係者一同、大会の成功に向けて精一杯の準備・運営に邁進していく所存でございます。全国の仲間の皆様、熱い志を持って共に学びましょう。皆様とお会いできることを心よりお待ちしております。

- 主催**
 全国公立学校教頭会 四国地区小中学校教頭会 高知県小中学校教頭会
- 後援** (申請予定)
 文部科学省 全国都道府県教育長協議会 高知県 高知市
 高知県教育委員会 徳島県教育委員会 香川県教育委員会 愛媛県教育委員会
 高知市教育委員会 高知市町村教育委員会連合会 公益法人日本教育会
 全国連合小学校長会 全日本中学校長会 高知県小中学校長会
 全国へき地教育研究連盟 公益財団法人日本教育公務員弘済会高知支部
 公益社団法人日本PTA全国協議会 高知県PTA連合会 高知市PTA連合会
 (順不同) 申請予定

- 大会主題**
 「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」
 (全国統一研究主題 第13期2年次)
 キーワード < 自立・協働・創造 >
 サブテーマ 「夢と志をもち、協働して未来を創る子どもを育成するチーム学校づくりの推進」

4 期 日
 令和6年7月31日(水)・8月1日(木)

5 開催地
 高知県高知市

6 会 場
 全体会場：県民文化ホール(オレンジホール)
 分科会場：ザ クラウンパレス新阪急ホテル高知 三翠園 サウスブリーズホテル
 高知商工会館 高知市文化プラザがるぼーと 高知プリンスホテル

7 開催方法
 参集型・オンライン型を併用したハイブリッド大会

8 日 程	時刻	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
第1日目 7月31日 (水) オレンジホール					受付	郷土文化紹介 開会行事	記念講演	シンポジウム	諸連絡
第2日目 8月1日 (木) 各会場	受付		分科会		昼食		分科会	閉会行事	

9 分科会 【8月1日(木) 9:30~】

No.	課題名	提言者(全分科会2本に)			会場
		全国	四国地区	高知県	
1	教育課程に関する課題	A	中国 岡山(中)	徳島 (中)	新阪急高知
		B	九州 福岡(中)		吾川 (小)
2	子供の発達に関する課題	北海道 根室(小)	愛媛 (中)		三翠園
3	教育環境整備に関する課題	東北 秋田(小)	香川 (小)		三翠園
4	組織・運営に関する課題	関東甲信越 茨城(中)	香川 (中)		サウスブリーズ
5	教職員の専門性に関する課題	A	東海北陸 三重(中)	徳島 (小)	商工会館
		B	近畿 滋賀(小)		土長南国 (中)
6	副校長・教頭の職務内容や 職務機能に迫る課題	全公教総務・調査部担当			かるぽーと
特別	時宜に応じた課題	I 全公教研究部担当			高知プリンス
	開催地の創意を生かした課題	II 高知県実行委員会担当			高知プリンス



伊尾木洞



カツオ葉焼き体験



日曜市



坂本龍馬像

提供：高知県観光コンベンション協会

10 郷土文化紹介 【7月31日(水) 12:30 ~ 12:50】

よさこい鳥子踊り(チームは「國土舞双」)

11 記念講演 【7月31日(水) 13:40 ~ 14:40】

講師 映画監督 安藤 桃子 氏

演題 「 未 定 」

12 シンポジウム 【7月31日(水) 14:50 ~ 16:50】

テーマ 「夢と志をもち、協働して未来を創る子どもを育成するチーム学校づくりの推進」

コーディネーター 露口 健司 氏(愛媛大学大学院)

シンポジスト 藤原 文雄 氏(国立教育政策研究所)

シンポジスト 田村 千賀 氏(千クリエイティブカンパニー代表取締役)

シンポジスト 谷 智子 氏(高知市教育委員会教育委員)

13 大会参加費用

《参集参加者》4,500円(内訳 参加費・資料代3,000円 弁当・お茶代1,500円)

《オンライン参加者》3,000円(内訳 参加費・資料代)

※上記は2日間の金額です。欠席や1日だけの参加でも返金はできません。

14 参加申込

(1) 申込方法 後日お知らせする専用申し込みサイトから参加者によるお申込み

(2) 申込期間 令和6年4月1日(月) ~ 5月20日(月) 〆切厳守をお願いします。

※各都道府県教頭会事務局には、別途案内する方法により申込状況の確認をお願いします。

全国公立学校教頭会研究大会 高知大会 実行委員会

実行委員長 大坪 顕彦



〒781-2120

高知県吾川郡いの町枝川 2410-7 中部教育事務所 3階

TEL: 088-881-2393 FAX: 088-881-2635

Mail: kochi@kyotokai.org

ホームページ URL: https://kyotokai.org/

令和6年度第66回全国公立学校教頭会研究大会高知大会参加について

令和6年7月31日(水)～8月1日(木) 高知県高知市 ハイブリッド大会

1. 分科会参加要請数

分科会	1A	1B	2	3	4	5A	5B	6	特別 I	特別 II	計
参集要請数	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	12
オンライン	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	29

2. 地区別要請数

地区	参集	オンライン
盛岡	1	2
岩手	1	2
紫波	1	2
花巻	0	2
和賀	1	2
胆江	1	2
一関	1	2
気仙	1	2
釜石	0	2
遠野	1	2
宮古	1	2
久慈	1	2
二戸	0	2
理事	2	3
計	12	29

3. 分科会別割当数(参集)

分科会 地区	1A	1B	2	3	4	5A	5B	6	特 I	特 II	計
盛岡				1							1
岩手					1						1
紫波						1					1
花巻											0
和賀							1				1
胆江	1										1
一関		1									1
気仙			1								1
釜石											0
遠野				1							1
宮古									1		1
久慈										1	1
二戸											0
理事	1							1			2
計	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	12

4. 分科会別割当数(オンライン)

分科会 地区	1A	1B	2	3	4	5A	5B	6	特 I	特 II	計
盛岡				1					1		2
岩手			1					1			2
紫波		1					1				2
花巻	1					1					2
和賀		1		1							2
胆江			1						1		2
一関	1				1						2
気仙					1					1	2
釜石	1					1					2
遠野							1		1		2
宮古					1			1			2
久慈						1				1	2
二戸		1					1				2
理事				1				1		1	3
計	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	29

令和6年2月吉日

東北地区小中学校長 様
宮城県小中学校長 様
東北各県小中学校副校長・教頭 様
関 係 各 位

東北地区小中学校教頭会 会長 村上 淳
宮城県小中学校教頭会 会長 高田 勝巳

令和6年度

第44回 東北地区小中学校教頭会研究大会宮城大会
第49回 宮城県小中学校教頭会研究大会仙台市大会

オンライン開催

第1次ご案内

春寒の候、皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。第43回東北地区小中学校教頭会研究大会福島大会が昨年郡山市において盛大に開催され、第13期全国統一研究主題の1年次のスタートにふさわしい大きな成果をもって終了されました。大会関係者のご尽力とご配慮に心から感謝申し上げます。

さて、令和6年度東北地区小中学校教頭会研究大会では、第13期全国統一研究主題「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」の2年目という位置付けで、宮城県仙台市で開催することになりました。東日本大震災から13年目を迎えますが、震災を風化させず、東北地区の復興を実現させるためには、未来を切り拓く人材の育成が大切な課題となっています。豊かな人間性と創造性を育む学校教育を推進するための副校長・教頭の在り方を共に考えていきたいと思っております。

本大会では、「アフターコロナ」を踏まえ、これまで宮城県で培った知識や経験を生かし、オンライン型での開催とします。また、これまで二日間に分けて行っていた内容を一日で行います。

つきましては、東北地区小中学校の教頭・副校長の会員の皆様にご参加いただき、宮城大会の開催にお力添えを賜りますよう、ご案内申し上げます。

開催要項

- 1 主 題 「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」
キーワード(自立 協働 創造)
- 2 期 日 令和6年11月14日(木)
- 3 配信会場 ホテル白萩
- 4 主 催 東北地区小中学校教頭会 宮城県小中学校教頭会
- 5 主 管 仙台市小学校教頭会
- 6 共 催 全国公立学校教頭会
- 7 後 援 宮城県教育委員会 仙台市教育委員会 宮城県小学校長会
(予 定) 宮城県中学校長会 仙台市小学校長会 仙台市中学校長会
一般財団法人宮城教育振興会 公益財団法人日本教育公務員弘済会宮城支部

8 日 程

【11月14日(木)】 ホテル白萩
9:20 10:00 11:40 12:00 13:00 16:00

開会行事	記念講演	閉会式	休憩	分科会
------	------	-----	----	-----

※発表者等参集者のみ

【11月13日(水)】 ホテル白萩
16:00 17:00 18:00 20:00

分科会前日打合せ	休憩	レセプション
----------	----	--------

9 記念講演

- 講 師 佐藤 淳一 氏
元石巻市立雄勝中学校 校長
前仙台市立錦ヶ丘中学校 校長

- 演 題 「未 定」

10 分科会 5課題6分科会(東北各県 宮城県発表)

分科会	研 究 課 題	提 言 者	
1 A	教 育 課 程	山 形 県	仙 台 市 小
1 B	教 育 課 程	秋 田 県	仙 台 地 区 ①
2	子 ど も の 発 達	青 森 県	本 吉 地 区
3	教 育 環 境 整 備	岩 手 県	仙 台 地 区 ②
4	組 織 ・ 運 営	福 島 県	仙 台 市 中
5	教 職 員 の 専 門 性	山 形 県	東 部 地 区

11 参 加 費 2,000円

12 そ の 他 詳細については、令和6年5月の東北地区小中学校教頭会理事研修会後に第2次案内にてお知らせします。

令和6年度第44回東北地区小中学校教頭会研究大会宮城大会参加について

令和6年11月14日(木) オンライン大会

1. 分科会参加要請数(宮城県提案)

各県会員の15%の参加要請

分科会	1A	1B	2	3	4	5	計
オンライン要請数	10	10	10	12	10	10	62

【第3分科会】盛岡地区発表

(提言者は仙台市参集・旅費宿泊費等は東北大会実行委員会負担)

2. 地区別要請数

※地区会員数の15%

地区	参加割当
盛岡	9
岩手	6
紫波	2
花巻	4
和賀	4
胆江	4
一関	5
気仙	4
釜石	2
遠野	2
宮古	5
久慈	5
二戸	4
理事	3
理事巡回	3
計	62

3. 分科会別割当数

分科会 地区	1A	1B	2	3	4	5	巡回	計
盛岡	1	1	1	3	2	1		9
岩手	1	1	1	1	1	1		6
紫波		1			1			2
花巻	1	1		1	1			4
和賀	1			1	1	1		4
胆江	1			1	1	1		4
一関	1	1	1	1		1		5
気仙	1	1		1	1			4
釜石			1			1		2
遠野	1		1					2
宮古		1	2	1		1		5
久慈	1	1	1		1	1		5
二戸	1	1	1		1			4
理事		1	1			1	3	6
計	10	10	10	10	10	9	3	62

提言者含む

令和6年度役員選出について

1 評議員会決定役員(従来の選出方法による)

会長 (1名) 盛岡地区から選出
副会長 (5名) ○印の地区から各1名選出

副会長・監事割当ローテーション

○岩手	紫波	花巻
和賀	○胆江	一関
○気仙	釜石	遠野
○宮古	久慈	二戸
○盛岡		

	6年度	7年度	8年度
副会長	岩手	紫波	花巻
	胆江	一関	和賀
	気仙	釜石	遠野
	宮古	久慈	二戸
	盛岡	盛岡	盛岡
監事	岩手	紫波	花巻
	釜石	胆江	一関
	遠野	宮古	久慈

監事 (3名) ○印の地区から各1名選出

○岩手	紫波	花巻	和賀
胆江	一関	気仙	○釜石
○遠野	宮古	久慈	二戸

2 会長委嘱役員 理事

3 地区選出役員 評議員 各地区2名、但し会員50名以上の地区は3名 (下表参照)
※ できるだけ地区会長、地区事務局長は、評議員を兼任のこと
評議員議長担当地区: 第1回(5月)釜石・遠野、第2回(2月)宮古・久慈
司会進行: 県事務局次長 記録: 県総務副部長

※ 総会を開催する場合

①総会議長 監事担当地区から各1名 (計3名)

②総会署名委員 岩手・紫波地区から各1名 (計2名)

③代議員 地区担当数と市町村単位割当数の合計人数選出 (下表参照)
【内訳】 地区担当数…会員数10名につき1名、端数切り捨て
市町村単位割当数…地区の市町村単位区分から各1名
(市町村単位の区分については地区の実情を考慮する)

評議員及び総会開催時の代議員割当数

※R5会員数で算出

地区	会員数	評議員数	総会開催時:代議員数			
			地区担当	市町村単位割当内訳	市町村単位割当	計
盛岡	66	3	6	盛岡市 1	1	7
岩手	45	2	4	岩手町 1	5	9
				釜石町 1		
				八幡平市 1		
				葛巻町 1		
				滝沢市 1		
紫波	14	2	1	紫波町 1	2	3
花巻	27	2	2	花巻市 1	1	3
和賀	27	2	2	北上市 1	2	4
胆江	33	2	3	奥州市 1	2	5
				金ヶ崎町 1		
一関	39	2	3	一関市 1	2	5
				平泉町 1		
気仙	29	2	2	大船渡市 1	3	5
				陸前高田市 1		
				住田町 1		
釜石	19	2	1	釜石市・大槌町 1	1	2
遠野	14	2	1	遠野市 1	1	2
宮古	36	2	3	宮古市 1	3	6
				山田町 1		
				岩泉町・田野畑村 1		
久慈	34	2	3	久慈市 1	3	6
				洋野町 1		
				野田村・普代村 1		
二戸	28	2	2	二戸市 1	3	5
				九戸村・軽米町 1		
				二戸町 1		
合計	411	27	33		29	62

負担金・拠出金の変更（案）について

（協議資料）

【提案内容】

令和7年度より負担金（会費）拠出金（入会金）の減額を以下のように行う。

負担金(年会費) 4,000円 [全会員：現在 4,600円]

拠出金(入会時) 3,000円 [新会員：現在 6,000円]

【提案理由】

新型コロナウイルス感染拡大を機に、全公教では情報化を推進し、会議や研修会などにオンラインを併用した新しい活動形態を導入した活動方針を〔特別委員会〕活動検討部会で協議し決定した。【資料①】

全公教の新たな活動方針は感染症等の緊急時にあっても「活動を止めない」という目的に留まらず、副校長・教頭の多忙化や働き方改革に寄与するという効果も見られている。

併せて、会計面においては旅費宿泊費等の経費の節約につながり、ここ3年間の会計収支は大きな余剰金を生み出し、年度ごとに締める一般会計としては多額の繰越金が発生している。【資料②】

反面、本会の会員数は学校数の減少に伴い、毎年250名程度減少を続けており、令和4年約27,500人が10年後には約25,000人になることが予想され、負担金・拠出金の収入が大幅に減額となることとなる。【資料③】

そこで、運営検討委員会では10年先の会員数減少による収入減を慎重に考慮した上で、一般会計の健全な運用を実現し、繰越金の会員への還元につながるよう、負担金・拠出金の減額という形で新たな金額を提案することとした。

【変更の手続き】

- | | | |
|----------------|--------|-----------------|
| ① 令和5年度 第2回理事会 | 〔提案〕 | * 各教頭会・副校長会での協議 |
| ② 令和5年度 第3回理事会 | 〔審議〕 | * 理事会決裁 |
| ③ 令和6年度 定期総会 | 〔提案審議〕 | * 総会決議 |

== 令和7年度より 負担金・拠出金の変更 ==

【付 記】

今後の世の中の変化（例えば諸税の増加等）や全公教の新たな動き（都市計画に伴う全公教事務局の高層ビルへの移転等）会計収支に不確定なことが想定されるので、負担金・拠出金については5年毎に検討していくこととする。

協議資料

◇資料①〔特別委員会〕全公教活動計画委員会の決定事項

■全公教の新たな活動方針

- (1) ネットワークを利用し全会員への活動の周知、成果の共有を推進
- (2) 学校多忙化・働き方改革への対応（オンライン併用型の活動）
- (3) 新しい生活様式への対応
 - ① どのような状況でも活動を止めることなく進めることができるようにする。
 - ② 感染症等の緊急時に備え、完全オンラインでの開催などの工夫
 - ③ ソーシャルディスタンス確保し、安全に充分考慮した方法で開催する。
 - ④ 宿泊・飲食を伴う会議等の計画変更

◇資料② 全公教一般会計収支状況

令和元年度～4年度 一般会計、運動活資金 推移

	収入	支出	繰越金	繰越金	取崩金	繰上金
令和元年度	166,668,500	150,777,273	16,290,227	131,821,281	31,304,863	24,856,416
令和二年度	164,496,250	136,002,029	58,494,221	75,519,260	58,674	27,091,879
令和三年度	163,094,400	90,132,494	72,961,706	59,854,030	1,056,780	21,316,664
令和四年度	161,668,500	102,226,030	59,442,770	74,942,617	4,506,929	24,383,413
予想額	1億6千万	1億1千	5千			

◇資料③ 全公教 今後の会員数の推移と収入

全公教 会員数の変動にかかわる会費収入

※平成21年度～ 定期協会費より反算して作成

年次	年次	会費額	負担金A 4,600 (円)	協会費額	引出金B 6,000 (円)	A + B (円)
平成21	2009	31,204	143,538,400	5,442	32,646,000	176,184,400
22	2010	30,931	142,282,600	5,300	31,800,000	174,082,600
23	2011	29,583	137,323,800	4,875	29,250,000	166,573,800
24	2012	29,645	136,367,000	4,818	28,908,000	165,275,000
25	2013	29,323	134,885,800	5,025	30,150,000	165,035,800
26	2014	29,055	133,653,000	5,168	31,008,000	164,661,000
27	2015	28,827	132,604,200	5,544	33,264,000	165,868,200
28	2016	28,606	131,587,600	5,597	33,582,000	165,169,600
29	2017	28,372	130,511,200	5,714	34,284,000	164,795,200
30	2018	28,235	129,881,000	6,000	36,000,000	165,881,000
令和元	2019	28,075	129,145,000	5,100	35,500,000	165,745,000
2	2020	27,925	128,455,000	5,965	35,790,000	164,245,000
3	2021	27,754	127,568,400	5,853	35,175,000	162,846,400
4	2022	27,588	126,904,800	5,747	34,482,000	161,386,800
5	2023	27,378				
6	2024	27,088				
7	2025	26,838				
8	2026	26,588				
9	2027	26,338				
10	2028	26,088				
11	2029	25,838	118,854,800	5,168	31,005,600	149,860,400
12	2030	25,588	117,704,800	5,118	30,705,600	148,410,400
13	2031	25,338	116,554,800	5,068	30,405,600	146,960,400
14	2032	25,088	115,404,800	5,018	30,105,600	145,510,400
15	2033	24,838	114,254,800	4,968	29,805,600	144,060,400

毎年、250名ずつ減少していることを想定して算出

会員数の20%を算出

令和6年1月12日

単位教頭会・副校長会 会長 様
全公教 理事 様

負担金・拠出金の変更（案）についての意見聴取（依頼）

令和5年度第2回理事会において提案させていただいた負担金（年会費）・拠出金（入会時）の変更について、第3回理事会での承認、令和6年度の定期総会での決定、令和7年度よりの実施という予定で考えております。

可能な限り会員の皆様のご意見を反映した上で実施したいと思っておりますので、単位教頭会・副校長会としてのご意見をいただきたいと思っております。

別紙、調査用紙にご記入いただき、令和6年2月16日（金）までにご提出ください。いただいたご意見を参考に、役員会で協議の上、第3回理事会でご審議いただくようにさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

【提案内容】 *第2回理事会提案資料は添付してあります。

令和7年度より負担金（会費）拠出金（入会金）の減額を以下のように行う。

負担金(年会費)	4,000円	〔全会員：現在4,600円〕
拠出金(入会時)	3,000円	〔新会員：現在6,000円〕

【金額変更の理由】

- ① 一般会計収支より
ここ数年の全公教の一般会計の収支から、この先数年の支出見通しを立てると、支出は約1億1000万円、年間5000万円の残金が出る予想ができる。
- ② 10年後の会員減少予想から
会員数2万5千人（3千人減）、新会員5千人（1千人減）と想定され、負担金・拠出金収入は1億4500万円となり3500万円の残金が出る。

そこで、10年先を見越し残額3500万円程度を負担金・拠出金値下げに充てる。

提案は	負担金減	<u>600円</u> × 2万5千人（10年後会員数）	=	1500万円
	拠出金減	<u>3000円</u> × 5千人（10年後新会員数）	=	1500万円
				計3000万円

新会員の負担軽減、集金作業効率化のため切りの良い金額などの条件を考慮し、今回の提案した額を設定した。

負担金・拠出金の変更（案）についての意見書

○単位教頭会・副校長会名

岩手県小中学校副校長会

○理事名

高橋 光広

○提案についてのご意見

*全公教提案

趣旨に賛同する ()

趣旨に賛同するが改善意見あり (○)

趣旨に反対する ()

◇ あげられた意見

(賛同意見・改善案・反対意見等 自由記述)

新型コロナウイルス感染拡大を機に、全公教で新しい活動形態を導入し、経費の節約につながった結果について、負担金等の減額というご提案をいただいたことにまずは感謝申し上げます。この余剰金をいかに有効に還元出来るかを考えるに当たり、令和7年度以降の減額という案について、余剰金の元となった7年度以前、特にもコロナ禍の3年間に負担金を納めていた会員のことを考慮し、下記のように提案します。

負担金・拠出金の値下げは行わないこと

余剰金について単位教頭会またはブロック教頭会への還元を希望します。

①単位教頭会は会員数の減少による収入減により、活動を縮小するなど工夫をしながらなんとか乗り切っている現状です。単位教頭会への研修助成という還元を提案します。例えば、全会員一人あたりの余剰金×単位教頭会会員数を全単位教頭会へ還元するという方法が考えられます。

②教頭会活動の主軸である研究について、ブロック大会や研修会の開催に当たり、会場費等をはじめとする価格の高騰により、従来の予算額では運営が厳しくなってきました。余剰金を現行の330万円のブロック研究推進助成金の増額に充てていただくことを提案します。予算面の不安を減らし、ブロックの研究・交流をさらに深め、会員への還元につなげることが出来ると考えます。

令和6年2月19日

岩手県小中学校副校長会
地区事務局長 各位

岩手県小中学校副校長会
会長 相原伸裕

令和6年度地区事務局長報告について(依頼)

春寒の候、貴職にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。今年度本会の運営につきまして多大なるご支援ご協力をいただき、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

さて、年度末でお忙しいところ恐縮ですが、令和6年度地区事務局長を下記により県事務局までご報告いただきますようお願い致します。

については、令和6年4月1日に各地区へ各種報告依頼を出す都合上、4月1日時点で報告に対応される方と新年度事務局長が異なる場合は連絡事項にその旨明記してください。

なお、事務局長未定の場合は代理の方をご報告願います。

さらに、退職会員はすでにご報告いただいておりますが、人事異動発表により新たに退職が判明した場合は加えてご報告いただきますようお願い致します。

記

〔依頼事項〕

- 1 新事務局長報告
- 2 令和5年度退職者追加報告

〔報告〕

別紙様式にて、令和6年3月22日(金)までに FAX またはメールでお知らせ下さい。
報告様式は、副校長会 HP の掲示板にも掲載します。

岩手県小中学校副校長会事務局 TEL 019-658-2858
FAX 019-651-2866
E-mail iwa2858@hyper.ocn.ne.jp

令和6年度事務局長報告

令和6年 月 日

_____ 地 区 報告者氏名 _____

◎令和6年度事務局長

フリガナ
氏 名 _____

所 属 校 _____ 所属長氏名 _____

電 話 番 号 _____ F A X 番 号 _____

E・m a i l _____

※メールでの連絡が確認しやすいアドレスをお願いします。

◎連絡事項

①令和6年4月1日時点連絡担当者（上記と異なる場合）

フリガナ
氏 名 _____

所 属 校 _____ 所属長氏名 _____

電 話 番 号 _____ F A X 番 号 _____

E・m a i l _____

※メールでの連絡が確認しやすいアドレスをお願いします。

②令和6年度事務局代理者(月 日決定予定)

フリガナ
氏 名 _____

所 属 校 _____ 所属長氏名 _____

電 話 番 号 _____ F A X 番 号 _____

E・m a i l _____

※メールでの連絡が確認しやすいアドレスをお願いします。

◎令和5年度追加退職者

所 属 校 _____ 氏 名 _____